

国際シンポジウム

琉球諸語と文化の未来

琉球諸語の危機が言われて久しい。言語は文化の母といわれる。琉球・沖縄の文化を継承し、さらに発展させていくために私たちは今、何をすべきか。現代を代表する知識人と研究者、そしてハワイ語の復興に取り組み大きな成果をあげてきたハワイ大学の専門家をお招きし、この大きな課題について討論していただく。

司 会 仲尾次 洋子 (名桜大学環太平洋地域文化研究所 所長)

開会挨拶 山里 勝己 (名桜大学 学長)

共催挨拶 玻名城 泰山 (琉球新報社 社長)

基調講演 『琉球諸語と文化の未来』

波照間 永吉 (名桜大学大学院国際文化研究科博士後期課程研究科長)

休憩(10分)

パネルディスカッション

パネリスト 大城 立裕 (芥川賞作家)

佐藤 優 (作家・元外務省主任分析官・名桜大学客員教授)

Keiki Kawai'ae'a (ハワイ大学ヒロ校ハワイ語学部准教授)

西岡 敏 (沖縄国際大学総合文化学部教授)

コーディネーター 波照間 永吉 (名桜大学大学院国際文化研究科博士後期課程研究科長)

閉会挨拶 鈴木 啓子 (名桜大学副学長・人間健康学部教授)

令和2年

2/15 (土) 14:00~16:30
(13:30受付開始)

参加無料
【事前受付不要】

場所：琉球新報ホール (那覇市泉崎 1丁目10番地3号)

※専用駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。

主催：公立大学法人 名桜大学

共催：琉球新報社

【問合せ先】名桜大学環太平洋地域文化研究所 TEL：0980-51-1107

琉球諸語と文化の未来

参加無料
【事前受付不要】

令和2年

2/15
(土)場所：琉球新報ホール
(那覇市泉崎1丁目10番地3号)

講師の略歴

波照間 永吉 (名桜大学大学院国際文化研究科博士後期課程研究科長)

主要論文著書等

- 『定本琉球国由来記』外間守善と共編著 (1997年 角川書店)
 『定本おもろさうし』外間守善と共編著 (2002年 角川書店)
 『鎌倉芳太郎資料集ノート篇』(全4巻。第4巻のみ麻生伸一と共編) (2004年～2016年 沖縄県立芸術大学附属研究所)
 『新編 沖縄の文学 (増補・改訂版)』(2008年 沖縄時事出版)
 『竹富方言辞典』前新 透著、波照間永吉・高嶺方祐・入里照男編著 (2011年 南山舎)

大城 立裕 (芥川賞作家)

戦後は、琉球政府通産局通商課長、県立博物館長などを務める一方、敗戦直後から青春の挫折と沖縄の運命を繋ぐ思想的な動機で文学を始め、1959年に『小説琉球処分』の新聞連載開始、1967年『カクテル・パーティー』で沖縄初の芥川賞作家となる。戦後の沖縄文学を牽引して、沖縄の歴史と文化を主題とした小説や戯曲、エッセイを書き続ける。小説『対馬丸』『日の果てから』『かがやける荒野』『恋を売る家』『普天間よ』のほか、『花の幻—琉球組踊十番』『真北風(まにし)が吹けば—琉球組踊続十番』などの著書がある。2002年には『大城立裕全集』(全13巻)が刊行された。2010年、日本演劇協会演劇功労者表彰、2015年、初の私小説「レールの向こう」で、川端康成文学賞を受賞。

佐藤 優 (作家・元外務省主任分析官・名桜大学客員教授)

日本の外交官、作家。学位は神学修士。同志社大学神学部客員教授、静岡文化芸術大学招聘客員教授。在ロシア日本国大使館三等書記官、外務省国際情報局分析第一課主任分析官、外務省大臣官房総務課課長補佐を歴任。

主な著書

- 『国家の罨』(新潮社) 毎日出版文化賞特別賞受賞
 『自壊する帝国』(新潮社) 新潮ドキュメント賞、大宅壮一ノンフィクション賞受賞
 『読書の技法』(東洋経済新報社)
 『君たちが忘れてはいけないこと：未来のエリートとの対話』(新潮社)

Keiki Kawai'ae'a (ハワイ大学ヒロ校ハワイ語学部准教授)

ハワイ大学ヒロ校ハワイ語学部准教授。カワイオラ先住民教師教育プログラムディレクター。Hale Kuamo'o Hawaiian Language Centerディレクター。ハワイ語の言語復興と教育プログラムの促進におけるパイオニア。ハワイ語の教材やデジタルアーカイブの作成、先住民教師の育成などに取り組んでいる。先住民コミュニティの活性化、将来のリーダー育成に貢献した人物に贈られるDr. Henrietta Mann Leadership Awardを含め、教育分野で数々の賞を受賞し、アメリカ国内および国際的な集會に講演者として招待されている。

西岡 敏 (沖縄国際大学総合文化学部教授)

沖縄国際大学南島文化研究所副所長。専門は琉球語学・琉球文学。1990年代より「しまくとぅば」の研究に携わる。現在、しまくとぅば講師養成プログラム検討委員、しまくとぅば検定委員、しまくとぅば実践教育プログラム開発事業(沖縄県立芸術大学附属研究所)委員等。

主要論文著作等

- 「やんばるの琉歌」『文学と場所』(名桜大学やんばるブックレット①) 2016年
 「八重山歌謡における音数律と語形一狭母音に関わる考察を中心に」『沖縄芸術の科学』28 2016年
 「琉球諸語の「テ形」をめぐって—一文法化を中心に—」『沖縄国際大学日本語日本文学研究』40 2017年
 国立劇場おきなわ第1回新作組踊・戯曲大賞奨励賞(2019年)「京阿波根仁王立」